

# 平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 保健体育課  
 担当名: 健康教育・学校安全担当  
 内線: 6963 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B58	学校環境衛生対策費			一般会計	教育費	保健体育費	学校保健連絡調整費	学校環境整備推進費	
事業期間	平成 9年度～	根拠法令	学校保健安全法 建築物における衛生的環境の確保に関する法律	宣言項目		06	次代を担う人財育成		
				分野施策		030621	豊かな心と健やかな体の育成		
1 事業概要 学校施設に起因する化学物質等による児童生徒及び教職員の健康を守るため、学校環境衛生の維持管理に必要な対策を講じる。				5 事業説明					
(1) レジオネラ菌対策 節約等に伴う減 △150千円				(1) 事業内容 ア レジオネラ菌対策 707千円 レジオネラ菌が繁殖する冷却塔(クーリングタワー)の冷却水の適正な水質管理を行う。					
(2) 建築物環境衛生管理技術者の養成 節約等に伴う減 △126千円				イ 建築物環境衛生管理技術者の養成 380千円 「特定建築物」である学校を管理する「建築物環境衛生管理技術者」を職員の中で養成する。					
(4) 建築物環境衛生管理技術者の委託 入札差金に伴う減 △9,230千円				ウ 建築物環境衛生管理技術者の管理指導 112千円 「特定建築物」である学校等の衛生的な環境の確保を図る(対象施設: 78施設)。 エ 建築物環境衛生管理技術者の委託 20,551千円 78施設のうち、建築物環境衛生管理技術者である職員を配置できない施設について、建築物環境衛生管理技術者の配置等を委託により実施する。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画 ア 冷却塔(クーリングタワー)の冷却水の水質管理及びレジオネラ菌検査を行う。 イ 建築物衛生管理技術者の養成を行う。 ウ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、衛生管理及び指導を行う。(1施設あたり年2回) エ 建築物環境衛生管理技術者である県職員を配置できない施設について、建築物環境衛生管理技術者を委託等により配置する。					
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 ア クーリングタワーを循環する水にレジオネラ菌が発生しないように塩素消毒をすることにより、レジオネラ菌による感染症患者の発生を未然に防ぐ。 イ 学校事務職員のうち、この技術者になることを希望した職員が建築物衛生管理技術者講習会(公益財団法人日本建築衛生管理教育センターが実施)を受講することで、技術者を養成できる。 ウ 該当する特定建築物の衛生管理が充実される。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円				(4) その他 建築物環境衛生管理技術者の委託施設数増に伴う増額 (5) 補正予算の概要 ア レジオネラ菌対策 節約等に伴う減 イ 建築物環境衛生管理技術者の養成 節約等に伴う減 エ 建築物環境衛生管理技術者の委託 入札差金に伴う減					
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△9,506							△9,506	12,224
現計額	21,730							21,730	